

地場産給食だより



令和6年度
第5号
(11月号)

大崎市特別栽培米の「シナイモツゴ郷の米」を11月の給食で味わいます

大崎南学校給食センターは、11月26日(火)実施です

大崎市は、江合川と鳴瀬川の清らかな流れが広大で肥沃な「大崎耕土」を潤し、その豊かな大地から多くのブランド米が誕生しています。

学校給食では、年間を通して環境保全米の「ひとめぼれ」を活用していますが、市内で栽培される特別栽培米を味わう機会も設けています。

農家の皆さんは、1年を通じて田んぼの管理を行い、大切にお米を育てていただきました。愛情いっぱい、美味しい大崎のお米を味わいましょう。



3回目は

鹿島台地域の“シナイモツゴ郷の米”

シナイモツゴ郷の米は、シナイモツゴ郷の会が、農薬や化学肥料を減量して育てている環境保全米です。

水環境のバロメーターと言われている魚の「シナイモツゴ」が住めるほど安全な水で育まれました。

わたしが「シナイモツゴ」。立派な大人だけど、大きさは5cm位。
きれいな水が大好き！



写真:シナイモツゴ郷の会ホームページより



パタ崎さんも応援中！



シナイモツゴ郷の会の環境を守る取組

❖いきもの調査

鹿島台地域の水路や小川で実施しています。
今年8月4日の調査では、メダカやタイリクバラタナゴの稚魚、ギバチやスナヤツメが確認されました。また、ヤゴやコシマゲンゴロウなどの水生昆虫も生息していました。

❖鹿島台小学校4年生との取組

毎年、5月頃に総合的な学習の時間を活用し、環境保全に関することなどをテーマに講話を実施しています。
子どもたちは6月下旬の放流会にも参加し、1つ上の学年が育てたシナイモツゴ300匹を放流しました。

「食の宝庫」である大崎市を支えているのは、農家や生産者のみなさんです。給食も、たくさんの方々のおかげで食べることができます。周りの方々への感謝の気持ちを持ち、おいしくいただきます。

発行元
大崎市教育委員会
教育総務課